

2017年12月30日・

ロシア民謡『トロイカ』。トロイカは三頭立ての馬車。原曲は、「金持ちに恋人を奪われた若い馭者の悲しみを歌った哀切な歌」だそうですが、日本語で主に歌われるのは、楽団カチューシャによる陽気な歌詞で、NHKの『みんなのうた』でも放送され、小学校の音楽の教科書にも掲載されました。二番に出て来るバイヤンはアコーディオンに似たロシアの楽器ということです。(参考、Wikipedia))

『走れトロイカ』

ロシア民謡 歌詞: 楽団カチューシャ

雪の白樺並木 夕日が映える
走れトロイカ ほがらかに
鈴の音高く

響け若人の歌 高鳴れバイヤン
走れトロイカ かるやかに
粉雪蹴って
走れトロイカ かるやかに
粉雪蹴って

黒いひとみが待つよ あの森越せば
走れトロイカ 今宵は
楽しいうたげ
走れトロイカ 今宵は
楽しいうたげ

2017年12月28日・

「もういくつ寝るとお正月。。。」の作曲者が瀧廉太郎とは知りませんでした。ちなみに、作詞者の東くめは「鳩ぽっぽ」や「雪やこんこん」などの詞を書いています。最近では正月は寝て待つというよりも向こうから押し寄せてきます。歳のせいでしょうか。

『お正月』

作詞: 東くめ 作曲: 瀧廉太郎

もういくつ寝ると お正月
お正月には凧あげて
独楽を回して遊びましょう
早く来い来い お正月

もういくつ寝ると お正月
お正月には毬ついて
追羽根ついて遊びましょう
早く来い来い お正月

2017年12月26日・

「きよけし」(カトリック聖歌#301)。ウィーン少年合唱団のクリスマスソングを YouTube で聴いていたところ、聞き慣れたメロディーが聞こえてきました。よく聴いてみると「きよけし」で、カトリック聖歌集ではマリア賛歌のカテゴリーに入っていますが、賛美歌の 108 番(21 260)では「いざ歌え いざ祝え」と同じメロディーです。この賛美歌はプロテスタントの教会では降誕祭でよく歌われるようです。どうも、Johannes Daniel Falk (1768-1826)が、Johann Gottfried Herders (1744-1803)の集めた歌集の中から取り出したマリア賛歌に新しい歌詞を付したもののようです。これが O du fröhliche (下記)で、この歌詞を見ると、1 番はクリスマス、2 番は復活祭、3 番は昇天祭の、キリスト教の 3 大聖祭が含まれています。Falk は自ら設立した孤児院の子供達に歌わせるためにこの歌詞を付けたということです。(参考までに英語の歌詞も載せました。現在は少し変わっているようです。)

『きよけし』

カトリック聖歌#301

1 きよけし とうとし
おとめマリア 汚れなき
神のはは 祈り取執し給え

2 よろこび なぐさめ
おとめマリア 主の み母
取成せば 神の恵 溢るる

3 みひかり かがやく
おとめマリア み子は 今
よみ返り み顔 麗しマリア
いざ歌え、いざ祝え

賛美歌 108 番(21 260)

1
いざ歌え、いざ祝え、
このめぐみの時、
救いぬし あらわれぬ、
喜び、主にある民よ。

2
いざ歌え、いざ祝え、
このめぐみの時、
悪しき世は くだかれぬ、
喜び、主にある民よ。

3
いざ歌え、いざ祝え、
このめぐみの時、
天使たちと 声合わせ、
喜び、主にある民よ。

O du fröhliche

O du fröhliche, o du selige,
gnadenbringende Weihnachtszeit!
Welt ging verloren, Christ ist geboren:
Freue, freue dich, Christenheit!

O du fröhliche, o du selige,
gnadenbringende Osterzeit!
Welt liegt in Banden, Christ ist erstanden:
Freue, freue dich, Christenheit!

O du fröhliche, o du selige,
gnadenbringende Pfingstenzeit!
Christ, unser Meister, heiligt die Geister:
Freue, freue dich, Christenheit!

O how joyful (O you joyful)
O (you) joyful, O (you) blessed,
Grace-bringing Christmas time!
The world was lost, Christ is born:
Rejoice, rejoice, O Christendom!

O (you) joyful, O (you) blessed,
Grace-bringing Christmas time!
Christ appeared to our atonement:
Rejoice, rejoice, O Christendom!

O (you) joyful, O (you) blessed,
Grace-bringing Christmas time!
Heavenly armies rejoicing to honor you:
Rejoice, rejoice, O Christendom!

2017年12月24日・

「ホワイト・クリスマス」(White Christmas)は、古風なクリスマスの情景の思い出を歌った Irving Berlin 作詞・作曲のクリスマスソングです。1942年に Bing Crosby によって最初に歌われ、大ヒットしました。White Christmas は当時第二次大戦を戦っていた兵士達の心にも強く響いたということです。そう知ってからもう一度歌詞を読むと何かまた違った感慨を覚えます。

"White Christmas"

Lyrics, Compmsition: Irving Berlin

I'm dreaming of a white Christmas
Just like the ones I used to know
Where the treetops glisten, and
Children listen to hear
Sleigh bells in the snow

I'm dreaming of a white Christmas
With every Christmas card I write
May your days be merry and bright
And may all your Christmases be white

Oh, I'm dreaming of a white Christmas
With every Christmas card I write
May your days be merry and bright
And may all your Christmases be white

『ホワイト・クリスマス』

(訳詞者不詳)

- 1 夢に見る ホワイト・クリスマス
窓近く揺する梢 光
ソリの鈴聴く 楽しき夢

2 夢に見る ホワイト・クリスマス

過去の思い出は

若き日の優しき

清らかなクリスマスの夢

(2 番を繰り返す)

2017 年 12 月 22 日 ·

「おめでとうクリスマス (We Wish You a Merry Christmas)」は、16 世紀のイギリス西部を起源とするキャロルです。クリスマスと共に新年も祝うキャロルは、イギリスの伝統的なキャロルとしては珍しく、多くキャロルの最後の曲目として歌われることが多いようです。(参考 Wikipedia)

"We wish you a Merry Christmas"

Traditional lyrics and melody

(いくつかのバージョンがあるようです。また、We wish you,...から歌い始めることが多いようです。)

Good tidings we bring

To you and your kin;

Good tidings for Christmas

And a happy New Year!

We wish you a Merry Christmas

We wish you a Merry Christmas

We wish you a Merry Christmas

And a happy New Year.

Bring us pudding

Bring us pudding

Bring us pudding

And a cup of good cheer

We won't go 'til we get some

We won't go 'til we get some

We won't go until we get some
So bring it out here!

We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
And a happy New Year
And a happy New Year

We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
And a happy New Year.

Merry Christmas
Merry Christmas

Good tidings we bring
To you and your kin;
Good tidings for Christmas
And a happy New Year!

We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
We wish you a Merry Christmas
And a happy New Year

Good tidings we bring
To you and your kin;
And a happy New Year!

『クリスマスおめでとう』

三宅忠明：訳

クリスマスおめでとう、
クリスマスおめでとう、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

よい知らせ持って来ましたよ、
あなたと、ご家族に、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

イチジクのプディングくださいな、
イチジクのプディングくださいな、
イチジクのプディングくださいな、
今、ここに!

よい知らせ持って来ましたよ、
あなたと、ご家族に、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

もらうまで帰りませんよ、
もらうまで帰りませんよ、
もらうまで帰りませんよ、
さあ、ここに!

よい知らせ持って来ましたよ、
あなたと、ご家族に、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

クリスマスおめでとう、
クリスマスおめでとう、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

よい知らせ持って来ましたよ、
あなたと、ご家族に、
クリスマスおめでとう、
そして、新年おめでとう!

2017年12月20日・

「まっかなお鼻のトナカイ」のトナカイ「ルドルフ」のお話の作者は、当時シカゴに住んでいた男性会社員(コピーライター)の Robert L. May さんです。1939年のこと。Mayさんには4歳の娘の

Barbara と妻の Evelyn がいましたが、Evelyn はガンを宣告されて、病床にありました。ある日、娘の Barbara が「お父さん、うちのお母さんはなんでよそのお母さんと違うの？」と悲しそうな声で尋ねるの聞いて可哀想に思いましたが、当時のアメリカの大恐慌も加わって家は貧しく、何もしてやれない Robert は、自分も幼い頃に他の子と違うことを理由にいじめられたことを思い出し、作った物語を本にして娘にプレゼントしました。トナカイ ルドルフの物語の誕生です。この物語は彼の会社で評判になり、会社の CM としても使われてアメリカ中に広まりました。

1949 年、John Marks が 1939 年の Robert May の物語を元に作詞・作曲し、この歌は 1950 年のトップベストヒット曲になりました。(参考: Wikipedia)これは英語で歌いたい気がしますので、最初に英語版、次に日本語版を載せます。

“RUDOLPH THE RED-NOSED REINDEER”

作詞・作曲: John Marks

(最初の語り: いくつかのトナカイの名前を出した後、「でも、一番有名なルドルフは知ってるかな？」と問いかけます。)

You know Dasher and Dancer and Prancer and Vixen,
you know Comet and Cupid and Donner and Blitzen,
But do you recall

The most famous reindeer of all

Rudolph the Red-Nosed Reindeer

Had a very shiny nose

And if you ever saw it

You would even say it glows

All of the other reindeer

Used to laugh and call him names

They never let poor Rudolph

Join in any reindeer games

Then one foggy Christmas Eve,

Santa came to say,

Rudolph with your nose so bright,

Won't you guide my sleigh tonight

Then how all the reindeer loved him,

As they shouted out with glee,

Rudolph the red-nose Reindeer
You'll go down in history
Rudolph the Red-Nosed Reindeer
Had a very shiny nose
And if you ever saw it,
You would even say it glows,
And all of the other reindeer
Used to laugh and call him names,
They never let poor Rudolph
Join in any reindeer games,
Then one foggy Christmas Eve,
Santa came to say,
Rudolph with your nose so bright,
Won't you guide my sleigh tonight?

『赤鼻のトナカイ 』

作詞:新田 宣夫 作曲:MARKS JOHN D

真っ赤なお鼻の
トナカイさんは
いつもみんなの
わらいもの
でもその年の
クリスマスの日
サンタのおじさんは
いいました
暗い夜道は
ぴかぴかの
おまへの鼻が
役に立つのさ
いつも泣いてた
トナカイさんは
今宵こそはと
よろこびました

2017年12月17日・

「ジングル・ベル」。1857年に牧師の James Pierpont によって作詞作曲されたもので、ボストンにある自分の教会の感謝祭のお祝いで歌うために作られました。最初につけられた歌の名前は、One Horse Open Sleigh で、この原曲は、唱歌「旅愁」の作者ジョン・P・オードウェイに献呈されているそうです。大変好評であったため、クリスマスでも歌われ、その後アメリカ中に広まっていき、タイトルもジングルベルに変わったということです。日本では昭和16年(1941)に藤浦洸の訳詞で『青空行けば』が最初のジングルベルの日本語カバーとされていますが、戦中でもあり、内容はクリスマスとは程遠いものだったようです。戦後、下記を含め、何人かの作詞者によって作詞されています。(参考: Wikipedia)

『Jingle Bells(ジングルベル)』

宮沢章二(1)、堀内敬三(2)作詞

ピアポント作曲

(1)宮沢章二作詞

走れそりよ 風のように
雪の中を 軽く早く
笑い声を 雪にまけば
明るいひかりの 花になるよ
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
鈴のリズムに ひかりの輪が舞う
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
森に林に 響きながら

走れそりよ 丘の上は
雪も白く 風も白く
歌う声は 飛んで行くよ
輝きはじめた 星の空へ
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
鈴のリズムに ひかりの輪が舞う
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
鈴のリズムに ひかりの輪が舞う

(2)堀内敬三作詞

野を越えて 丘を越え
雪を浴び そりは走る
高らかに 声あわせ
歌えや楽しい そりの歌
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
そりを飛ばせて 歌えや歌え
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
馬を飛ばせて いざ歌え

森を越え 山を越え
風を切り そりは走る
白い粉 舞い上がり
飛び交う木々の葉 そりの影
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
そりを飛ばせて 歌えや歌え
ジングルベル ジングルベル 鈴が鳴る
馬を飛ばせて いざ歌え

Jingle Bells

1 番

Dashing through the snow, in a one-horse open sleigh,
O'er the fields we go, laughing all the way.
Bells on bob-tails ring, making spirits bright,
What fun it is to ride and sing a sleighing song tonight.

コーラス

Jingle bells, jingle bells,
Jingle all the way!
O what fun it is to ride
In a one-horse open sleigh.

2 番

A day or two ago
I thought I'd take a ride
And soon Miss Fanny Bright

Was seated by my side
The horse was lean and lank
Misfortune seemed his lot
We ran into a drifted bank
And there we got upsot

3 番

A day or two ago
The story I must tell
I went out on the snow
And on my back I fell
A gent was riding by
In a one-horse open sleigh
He laughed at me as I there lay
But quickly drove away

4 番

Now the ground is white
Go it while you're young
Take the girls along
and sing this sleighing song
Just bet a bobtailed bay
Two-forty as his speed
Hitch him to an open sleigh and crack!
You'll take the lead

2017 年 12 月 16 日 ・

「もみの木」は、ドイツ北部に伝わる民謡ですが、歌詞は 19 世紀になってから新たに作られたものです。1 番はドイツの教育者でドイツ民謡に関する書物も編纂したヨアヒム・アウグスト・ツアルナック(Joachim August Zarnack, 1777～1827)、2・3 番はライプツィヒの教員でオルガニストでもあったエルンスト・ゲプハルト・アンシュッツ(Ernst Gebhard Anschütz, 1780～1861)によって書かれました。

ツアルナックは、もともこの歌を、クリスマスソングとしてではなく、恋の歌として書いたようで

す。ツアルナツクの詞の中では、モミの木は、人間の移り気な情感と引き比べた、変わらぬ愛の比喩として用いられています。英語圏では「Oh Christmas Tree」、フランス語圏では「Mon Beau Sapin (わが美しきモミの木)」のタイトルで愛唱されているということです。なお、日本語の詞は 8 通りほどあるようです。

(参考: http://www.geocities.jp/ezokashi/d_tannenbaum.html)

『もみの木』

中山知子作詞(1)

もみの木 もみの木 いつも緑よ
もみの木 もみの木 いつも緑よ
輝く夏の日 雪降る冬の日
もみの木 もみの木 いつも緑よ

もみの木 もみの木 こずえ静かに
もみの木 もみの木 こずえ静かに
喜び悲しみ やさしく見守る
もみの木 もみの木 こずえ静かに

もみの木 もみの木 繁れ豊かに
もみの木 もみの木 繁れ豊かに
雨にもくじけず 風にも折られず
もみの木 もみの木 繁れ豊かに

早川義郎作詞(2)

おおタンネンバウム おおタンネンバウム ときわのみどり
おおタンネンバウム おおタンネンバウム ときわのみどり
夏の山路には 枝をさしのべて
清がしき木陰に われをいざなう

北風の冬も 変わらぬみどり
北風の冬も 変わらぬみどり
けがれなき雪の 白き装いに
いや清き姿 おおタンネンバウム
おおタンネンバウム

並木祐一訳詞(3)

縦(もみ)の木 縦の木
生(お)いや茂れる
木蔭(こかげ)をさまよい
語りし思い出
縦の木 縦の木
いなまお恋し

乙女よ 乙女よ
汝(なれ)はいずこよ
木蔭をさまよい
誓いし幸(さち)の日
乙女よ 乙女よ
いずこに行(ゆ)きし

O Tannenbaum

O Tannenbaum, o Tannenbaum,
Wie treu sind deine Blätter!
Du grünst nicht nur zur Sommerzeit,
Nein auch im Winter wenn es schneit.
O Tannenbaum, o Tannenbaum,
Wie treu sind deine Blätter!
O Tannenbaum, o Tannenbaum,
Du kannst mir sehr gefallen!
Wie oft hat schon zur Winterszeit

Ein Baum von dir mich hoch erfreut!

O Tannenbaum, o Tannenbaum,

Du kannst mir sehr gefallen!

O Tannenbaum, o Tannenbaum,

Dein Kleid will mich was lehren:

Die Hoffnung und Beständigkeit

Gibt Mut und Kraft zu jeder Zeit!

O Tannenbaum, o Tannenbaum,

Dein Kleid will mich was lehren!

O Christmas Tree

O Christmas tree, o Christmas tree

How lovely are thy branches

O Christmas tree, o Christmas tree

How lovely are thy branches

Your boughs so green in summertime

Stay bravely green in wintertime

O tannenbaum, o Christmas tree

How lovely are thy branches

Let us all remember

In our gift giving and our merriment

With our family and friends and loved ones

The real and true meaning of Christmas

The birth of our Lord and Savior, Jesus Christ

O tannenbaum, o tannenbaum

How lovely are, are thy branches

O tannenbaum, o tannenbaum

How lovely are, how lovely are thy branches

The pillars all please faithfully

Our trust in God unchangedly

O tannenbaum, o tannenbaum

How love, lovely are thy branches

On Comet, on Cupid, on Donner and Blitzen

Ha ha ha ha

2017年12月14日・

もう一つ、クリスマスの聖歌、賛美歌から。「あめのみつかい」または「荒野の果てに」。18世紀のフランスのキャロルが起源のようです。

(参考: http://www.geocities.jp/lune_monogatari/gloria.html)

これはカトリックとプロテスタントで異なる歌詞になっています。

『あめのみつかい』

カトリック聖歌 121 番

1 天(あめ)のみつかいの うた声ひびく

星かげさやかな まき場の空に

(おりかえし)

グロリア インエクセルシス デオ

グロリア インエクセルシス デオ

2 貧しいまやの 恵みのみ子に

ほめ歌ささげて よろこび歌う

(おりかえし)

グロリア インエクセルシス デオ

グロリア インエクセルシス デオ

3 やさしい幼な子 救いのみ子よ

み国をのぞみて み前にいのる

(おりかえし)

グロリア インエクセルシス デオ

グロリア インエクセルシ

『荒野の果てに』

賛美歌 106 番

1) 荒野(あらの)の果てに 夕日は落ちて
妙(たえ)なる調べ 天(あめ)より響く
グロリア、イン エクセルシス デオ
グロリア、イン エクセルシス デオ

2) 羊を守る 野辺の牧人
天なる歌を 喜び聞きぬ
グロリア、イン エクセルシス デオ
グロリア、イン エクセルシス デオ

3) 御歌(みうた)を聞いて 羊飼いらは
馬槽(まぶね)に伏せる 御子を拝みぬ
グロリア、イン エクセルシス デオ
グロリア、イン エクセルシス デオ

4) 今日しも御子は 生まれ給いぬ
よろずの民よ 勇みて歌え
グロリア、イン エクセルシス デオ
グロリア、イン エクセルシス デオ

“Angels We Have Heard on High”

1) Angel we have heard on high,
Sweetly singing o'er the plains
And the mountains in reply
Echoing their joyous strains.
Gloria, In Excelsis Deo
Gloria, In Excelsis Deo

2) Shepherd why this jubilee,
Why your joyous strains prolong
What the gladsome tidings be,

Which inspire your heavenly song?

Gloria, In Excelsis Deo

Gloria, In Excelsis Deo

3) Come to Bethlehem and see,

Him whose birth the angels sing

Come adore on bended knee,

Christ the Lord the newborn king.

Gloria, In Excelsis Deo

Gloria, In Excelsis Deo

4) See him in a manger laid,

Whom the choirs of angels praise

Mary, Joseph, lend your aid,

While our hearts in love we raise.

Gloria, In Excelsis Deo

Gloria, In Excelsis Deo

2017年12月12日・

『もろびとこぞりて』も懐かしいクリスマスの歌です。曲は、"Antioch"と名付けられた讃美歌のメロディーで、1836年にアメリカの教会音楽作曲家 Lowell Mason が、ヘンデルの「メサイア」の「Lift up your heads and Glory to God」のメロディーからアレンジしたもの、と書かれているのを見ました。手持ちのメサイアの楽譜を見てみますと、歌い出しの Lift up your heads がヘ長調でドーシーラソーとなっていて「もーろーびとー」と同じでした。日本ではあまりおこなわれませんが、欧米では、詩と曲は独立で、曲が詩に合えば、そのメロディーで歌を歌うというのはよくやることだそうです。(参考: So-net ブログ <http://xmas-eigo.blog.so-net.ne.jp/2015-11-26>)

『もろびとこぞりて』

カトリック聖歌 654 賛美歌 112

もろびとこぞりて 迎えまつれ
久しく 待ちにし
主は来ませり
主は来ませり
主は 主は来ませり
この夜のやみじを 照らしたもう
たえなる 光の
主は来ませり
主は来ませり
主は 主は来ませり

平和のきみなる みこをむかえ
救いの ぬしとぞ
ほめたたえよ
ほめたたえよ
ほめ ほめたたえよ

Joy to the World

Joy to the World, the Lord is come!
Let earth receive her King,
Let every heart prepare Him room,
And Heaven and nature sing,
And Heaven and nature sing,
And Heaven, and Heaven, and nature sing.

Joy to the earth, the Savior reigns!
Let men their songs employ;
While fields and floods, rocks, hills and plains
Repeat the sounding joy,
Repeat the sounding joy,
Repeat, repeat, the sounding joy.

No more let sins and sorrows grow
Nor thorns infest the ground;

He comes to make His blessings flow
Far as the curse is found,
Far as the curse is found,
Far as, far as, the curse is found.

He rules the world with truth and grace,
And makes the nations prove
The glories of His righteousness,
The wonders of His love,
The wonders of His love,
The wonders, the wonders, of His love.

2017年12月10日・

「しずけき」。原曲はドイツ語の「Stille Nacht」。「きよしこの夜」としてもよく知られ、小学校の音楽教科書にも採用されたクリスマスの定番です。

1818年12月、オーストリアのオーベルンドルフの聖ニコラウス教会でのこと。クリスマスを数日に控えてオルガンが故障してしまいました。助任司祭だったモールは、使えなくなったオルガンの代わりにギターで伴奏できる聖歌を作曲するように同教会のオルガン奏者のグルーバーに依頼したのが12月24日の朝だったということです。

『しずけき(静けき真夜中)』

カトリック聖歌 111 番

1 静けき真夜中 貧しうまや
神のひとり子は み母の胸に
眠りたもう やすらかに

2 静けき真夜中 星はひかり
羊飼いたちは うまやに急ぐ
空にひびく 天使の歌

3 静けき真夜中 光さして
清らにほほえむ 救いのみ子を
たたえ歌え みなとも

『きよしこのよる』

賛美歌第二編 244 番

1 きよしこのよる 星はひかり、
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう、いとやすく。

2 きよしこのよる み告げうけし
まきびとたちは み子のみ前に
ぬかずきぬ、かしこみて。

3 きよしこのよる み子の笑みに、
めぐみの み代の あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。

Silent Night

Silent night, holy night!
All is calm, all is bright.
Round yon Virgin, Mother and Child.
Holy infant so tender and mild,
Sleep in heavenly peace,
Sleep in heavenly peace

Silent night, holy night!
Shepherds quake at the sight.

Glories stream from heaven afar
Heavenly hosts sing Alleluia,
Christ the Savior is born!
Christ the Savior is born

Silent night, holy night!
Son of God love's pure light.
Radiant beams from Thy holy face
With dawn of redeeming grace,
Jesus Lord, at Thy birth
Jesus Lord, at Thy birth

Stille Nacht

Stille Nacht, heilige Nacht
Alles schläft; einsam wacht
Nur das traute hochheilige Paar.
Holder Knabe im lockigen Haar,
Schlaf in himmlischer Ruh!
Schlaf in himmlischer Ruh!

Stille Nacht, heilige Nacht,
Hirten erst kundgemacht
Durch der Engel Halleluja,
Tönt es laut von fern und nah:
Christ, der Retter ist da!
Christ, der Retter ist da!

Stille Nacht, heilige Nacht,
Gottes Sohn, o wie lacht
Lieb' aus deinem göttlichen Mund,
Da uns schlägt die rettende Stund'.

Christ, in deiner Geburt!

Christ, in deiner Geburt!

2017年12月8日・

「来たれ友よ」もクリスマス必需(?)です。この歌は特にラテン語で歌いたい気がしますので、ラテン語も載せました。詞は13世紀頃にイギリスのJohn of Readingによって作られたと言われており、18世紀にJohn F. Wadeによって作曲されましたが、論争もあるそうです。その後、徐々に節が付け加えられて現在では(ラテン語で)8番まであるようです。

『来たれ友よ』

カトリック聖歌 113 番

1 来たれ友よ すべての友
喜びつどえ ベトレヘムに
み使いの 王なるみ子を
来たれ拝まん 来たれ拝まん
来たれよ拝まん わが主を

2 み告げ受けて 羊かいは
群れ打ちおきて 道いそぐ
いざ我ら 共に馳せ行かん
来たれ拝まん 来たれ拝まん
来たれよ拝まん わが主を

3 父なる神 とわの栄え
うまやのみ子に かがやきぬ
うるわしき そのひとり子を
来たれ拝まん 来たれ拝まん
来たれよ拝まん わが主を

ラテン語

1. Adeste Fideles laeti triumphantes,

Venite, venite in Bethlehem.

Natum vidite, Regem Angelorum:

Venite adoremus,

Venite adoremus

Venite adoremus Dominum

adeste「出席する」、fideles「信仰篤き人々」、laeti「喜び」、triumphantes「勝利」、venite「集う」「現れる」、natum「息子を」、videte「見よ」、regem「王を」、Angelorum「天使の」、Dominum「主を」

2. Deum de Deo, lumen de lumine,

gestant puellae viscera

Deum verum, genitum non factum:

Venite adoremus,

Vente adoremus

Vente adoremus Dominum

3. Cantet nunc io chorus Angelorum

cantet nunc aula caelestium:

Gloria in excelsis Deo:

Venite adoremus,

Venite adoremus

Venite adoremus Dominum

4. Ergo qui natus, die hodierna

Jesu, tibi sit gloria

Patris aeterni Verbum caro factum:

Venite adoremus,

Venite adoremus

Venite adoremus Dominum

英語

O come, all ye faithful,
joyful and triumphant,
O come ye, O come ye, to Bethlehem.
Come and behold Him,
born the King of Angels,
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
Christ the Lord!

Sing, choirs of Angels,
sing in exultation,
sing all ye citizens of heaven above,
Glory to God, All glory in the highest
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
Christ the Lord!

O come, all ye faithful
joyful and triumphant,
O come ye, O come ye, to Bethlehem.
Come and behold Him,
born the King of Angels,
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
O come, let us adore Him,
Christ the Lord!

2017年12月6日・

クリスマスが近づいて来ました。青春時代の淡い思い出も重なって浮かんで来るのは「ああベトレヘムよ」。作詞は、フィラデルフィアの教会の牧師 Phillips Brooks で、日曜学校の生徒たちのた

めに書いたということです。作曲は、Brooks が牧師を務めた同じ教会のオルガン奏者 Lewis H. Redner、1868 年の作。(ref. wikisource)

『ああベトレヘムよ』

カトリック聖歌集 655 番、賛美歌 115 番

1 ああベトレヘムよ などかひとり
星のみ匂いて ふかく眠る。
知らずや、今宵 くらき空に
とこよのひかりの 照りわたるを。

2 ひとみな眠りて 知らぬまにぞ
み子なるキリスト 生まれたもう。
あしたの星よ、うたいまつれ。
「神にはみ栄え、地に平和」と。

3 しずかに夜露の くだるごとく、
めぐみの賜物 世にのぞみぬ。
罪ふかき世に かかるめぐみ
天(あめ)より来(く)べしとたれかは知る。

4 ああベトレヘムの きよきみ子よ、
今しもわれらに くだりたまえ。
こころをきよめ 宮となして、
今よりときわに すまいたまえ。

O little town of Bethlehem
How still we see thee lie
Above thy deep and dreamless sleep
The silent stars go by
Yet in thy dark streets shineth
The everlasting Light

The hopes and fears of all the years
Are met in thee tonight

For Christ is born of Mary
And gathered all above
While mortals sleep, the angels keep
Their watch of wondering love
O morning stars together
Proclaim the holy birth
And praises sing to God the King
And Peace to men on earth

How silently, how silently
The wondrous gift is given
So God imparts to human hearts
The blessings of His heaven
No ear may hear His coming
But in this world of sin
Where meek souls will receive him still
The dear Christ enters in

O holy Child of Bethlehem
Descend to us, we pray
Cast out our sin and enter in
Be born to us today
We hear the Christmas angels
The great glad tidings tell
O come to us, abide with us
Our Lord Emmanuel
O come to us, abide with us
Our Lord Emmanuel

2017年12月4日・

秋も過ぎ、朝は小寒い風が吹いています。「野菊」が文部省唱歌(初等科音楽第一)に採用されたのは昭和17年(1942)でした。戦時中のこととて、作詞者の石森延男に「軟弱すぎる」とクレームがつき、石森は「アラミタマ(荒御魂)も日本精神ですけれども、ニギミタマ(和御魂)もまた日本伝統の精神で、万葉集のニギミタマの心こそ、この『野菊』です」と必死に弁明して乗り切ったということとです。(参考: Yahoo ブログ maskball2002)

『野菊』

作詞: 石森延男 作曲: 下総皖一

(一)

遠い山から 吹いて来る
小寒い風に ゆれながら
けだかくきよく 匂う花
きれいな野菊 うすむらさきよ

(二)

秋の日ざしを あびてとぶ
とんぼをかるく 休ませて
しずかに咲いた 野辺の花
やさしい野菊 うすむらさきよ

(三)

霜が降りても まけないで
野原や山に むれて咲き
秋のなごりを おしむ花
あかるい野菊 うすむらさきよ

2017年12月2日・

「鈴懸の径」は昭和 17 年(1942)発表の灰田勝彦の唄で、勝彦は作曲者の灰田晴彦(別名有紀彦)の弟です。鈴木章治(クラリネット)とリズム・エースの演奏が昭和 26 年(1951)頃にレコード化され大ヒットになりました。小林旭、ザ・ピーナッツも歌っています。

『鈴懸の径』

作詞: 佐伯孝夫 作曲: 灰田晴彦

友と語らん 鈴懸の径
通いなれたる 学校(まなびや)の街
やさしの小鈴 葉かげに鳴れば
夢はかえるよ 鈴懸の径

熱き想いを 心にこめて
澄んだひとみは 青空映す
窓辺の花に ほほを寄せれば
夢はかえるよ 鈴懸の径

月日は移り 思い出だけが
今も浮かぶよ 別れた友の
若き日の唄 風に乗せれば
夢はかえるよ 鈴懸の径